

# Hand in Hand



## 令和4年度の科目選択を調査します

6月25日(金)の学活の時間に市原先生、鳥喰先生から説明がありましたが、来年度4年生になると音楽I、美術I、書道Iの中から1科目を選択することになります。本日、その本調査用紙と資料を配付しました。自分自身が希望する進路を考え、家族と十分に検討した上で、希望する科目を選んでください。なお、第1希望から第3希望まで選び、調査用紙に記入してください。来年度以降の教育課程を示したシートも配付しましたので、それも参考にしながら検討・選択してください。

\*調査用紙の提出締切りは7月12日(月)までとなります。

## 市中総体を終えて

1年生の入部当初、15秒31だった100mのタイムを2年生最後の大会で12秒26にまで縮めた。3年生では本気で入賞を狙っていた。冬休みも春休みも自主トレに励み、中総体1カ月前からは筋トレやストレッチも始めた。

中総体1日目の100m予選。1週間前の記録会では12秒21だった。悔しい思いをしていたが、その思いも報われず12秒13。それでも、予選は通過できたが、全体で18位。県大会は12位までで、入賞は8位までだったため、今の自分の遅さを知らされ諦めかけていた。

2日目の準決勝は3組あり、各組2着プラス2名が決勝に進める。僕は組内で予選のタイムが最も遅かった。しかし、去年から抱いていた「決勝に行きたい」という思いは誰よりも強かったと思う。

その準決勝で奇跡が起こった。組内で2着、11秒94を出したのである。自分では正しい順位がわからなかったが、友だちから記録速報でタイムを伝えられたときは、自分でも信じられなかった。

決勝はその日の最終競技だった。憧れの決勝の舞台上、ベテランの相手と走れることがとても嬉しかった。結果は7着。12秒02で、7位入賞することができた。

陸上部は、中総体が終わった後も通信陸上や県大会などの大会がたくさんある。今回の出来事を奇跡にしないように、まずは7月の大会に向けてできることをひとつずつこなしたい。また、4×100mRも次こそ入賞できるように努力して、たくさんの賞状を持って帰ってきたい。 陸上部

私は中総体を終えた今、2つの感情があります。

一つ目は、3年間を終えることができたというような達成感です。3年前を振り返ってみると、特に印象に残っていることとして、1年生の時の中総体があります。私はこのとき、中総体がどのようなものかというのを知りませんでした。会場に行ってみると、他校の全校応援の勢いに圧倒され、本当に来て良かったのかと少し不安な気持ちになったのを今でも覚えています。

今年の中総体では、全校応援ということがなかったものの、1年生のときとは違い、ある程度胸を張って会場へ行き、試合にも出ることができたのではないかと思います。それは、3年間しっかりと練習を積み、できることはやってきたという気持ちが自分の中にあっただからです。試合が終わったときには、3年間をやり遂げたという達成感に溢れていました。

その反面、二つの目の気持ちとして、悔しさがあります。今までの話の中に、達成感という言葉がありましたが、試合が終わった後には、達成感が大きかったものの、悔しいという気持ちも大いにありました。私は、中総体前にケガをしてしまい、思うような練習ができませんでした。そのため、試合でも思うような結果は残せず、最後ぐらい良いパフォーマンスができていたら良かったなという悔しい気持ちが今でも残っています。

3年間やり遂げたという達成感がある中、悔しいという気持ちもありますが、これまでの経験や積み重ねてきた練習の成果を後期で発揮することができれば良いと思います。 野球部